



なければならぬこと。2つ目は、春から夏にかけて乳牛のふん尿が堆肥として畑に散布されたときの悪臭を解決しなければならぬこと。3つ目は、鹿追町ではごみを燃やさないで処理していますが、「生ごみ」を埋め立て処理することができないので、これを処理しなければならぬことです。

コーナーネットを利用したテレビ電話での会話やアメリカンスクールとの交流やカナダ大使館と相談しながら何らかの交流の場が持てないか検討したいと思います。

次は鹿追町の市街地の特に学生が通学する区域の街灯が少ないと思います。多くしてほしいです。また、押しボタン式の信号は冬期間ボタンが凍って押せなくなり困る場合があります。その対策として、センサータイプの信号機を増やしてほしいと思います。



（質問）  
スポーツセンターの高校生以下保護者がいない場合午後5時まではできないでしょうか。

（質問）  
2つの質問をしますが、1点目は、スポーツセンターの高校生以下保護者がいない場合午後5時まではできないでしょうか。

○答弁 吉田町長

スポーツセンターは、昭和54年開設以来、多くの方々に利用されています。保護者や指導者が見つからない場合は、午後5時までとの決まりになつておりますが大きく2点の理由があります。

1点目は、保護者や指導者が見つからない安全にスポーツを行うことが可能かどうか。2点目は、スポーツセンター利用後、特に自宅に帰る夕暮れ時の犯罪が全国的にも多いことに配慮したためであります。教育委員会とも十分協議をしまして改善に努力したいと思っております。

○答弁 小林教育長

教育委員会では、全ての生涯施設の利用について検討が必要であり、夕方の個人利用についてもさまざまな観点から検討が必要であり、クラブ活動終了に合わせ運行するスクールバスは、午後6時であることなどから全体の施設の利用時間を午後6時に延長したいと思っております。保護者の周知もあり、8月10日から延長開始とします。なお、小学

昨年、以前に拓殖鉄道の駅があった場所がきれいに整備され感謝して遊ぶような遊具の置いてある場所には30人の児童が瓜幕保育所には18人の幼児がいます。子どもがゆつくり楽しく安全に遊べる公園や施設があると良いと思います。また、ウリマックホールなどで、中学生がパソコンを利用できるスペースや、今より規模の大きい図書館閲覧スペースがあると勉強などにも大変役に立ちます。施設の充実についてよろし



（質問）  
2つの質問をします。1点目は、子どもが遊べる公園や施設を増やしてほしい。

（質問）  
2つの質問をします。1点目は、子どもが遊べる公園や施設を増やしてほしい。

質問標題

（質問）  
2つの質問をします。1点目は、子どもが遊べる公園や施設を増やしてほしい。

○答弁 吉田町長

鹿追町とカナダストニイプレイン町との交流は、1985年の姉妹都市提携調印を機にスタートし、27年の歴史を積み重ねてきました。特に、1996年度からは鹿追高等学校の1年生全員を短期留学生として毎年派遣しており、すでに千人以上の先輩たちが参加し、カナダからの訪問団の受け入れ数も2000人を超え、貴重な国際体験の場としての役割を担っております。



ストニイプレイン町は大変遠い所にある町です。小学生の体力面や親元を離れて過ごすことは精神面でも大変なことなので、現在のところは考えておりません。その代わりに何か学校にいなからカナダの人のコミュニケーションがとれる方法がないかを考えてみました。例えば、イ

質問標題

（質問）  
去年、地球学でバイオガスを学習してきました。そこで、どのようなようにバイオガスを作るのか。バイオガスプラントのメリット、デメリットについて学びました。



（質問）  
去年、地球学でバイオガスを学習してきました。そこで、どのようなようにバイオガスを作るのか。バイオガスプラントのメリット、デメリットについて学びました。

感じています。僕は、今まで学校近くの防風林で山菜採り、然別川での生き物調べなどいろいろな活動をしてきました。僕は、このような体験活動で鹿追の自然を体で感じ、楽しさがわかり大切にしたいと強く思うようになりました。人は自然なしでは、何もできない生きられませんか。地球学の自然体験活動はとも大抵だと思えます。しかし、体験活動時間が少ないと思えます。もつと増やして自然と触れ合う機会を多くするべきだと思います。

○答弁 吉田町長

いろいろな体験学習は、自然体験に限らず、実際にさまざまな体験を通して学んだことは、しっかりと身につけたいと思います。しかし、学校では、国語や算数、社会、理科など教科書を使った授業時間が決まっています。新地球学に取り組みする時間も決まられており、全教科にわたるバランスの取れた学習を行っていただきますので新地球学の時間を増やすことにはなりません。



しかし、私たちの住んでいる鹿追は自然に囲まれた空気や水のおいしい地域でありますので学校だけでなく、家庭教育や子ども会などの社会教育の中でもさまざまな体験ができるように、町としても期待に応えるよう努力します。

質問標題

（質問）  
去年、地球学でバイオガスを学習してきました。そこで、どのようなようにバイオガスを作るのか。バイオガスプラントのメリット、デメリットについて学びました。



（質問）  
去年、地球学でバイオガスを学習してきました。そこで、どのようなようにバイオガスを作るのか。バイオガスプラントのメリット、デメリットについて学びました。

鹿追町では、平成19年10月に中鹿追にありますが環境保全センターが完成され順調に稼働しています。バイオガスプラントを建設することになった要因は大きく3つあります。1つ目は、規模拡大する酪農における乳牛のふん尿を適正に処理し

○答弁 吉田町長

生はこれまで通り午後5時までとします。